

# 紫藤新聞

## 新入生へインタビュー



四月八日に入學式が行われました。そこで、校長先生からの歓迎の言葉と新入生代表からの言葉がありました。みんな緊張しながらも、立派に入學式に参加していました。そこから三ヶ月が経った今、一年生にインタビューを行いました。

【質問内容】

①この学校に来て良かったこと  
②高校生活をどう思っているか  
③この学校の魅力

【設備工業科 Rさん】  
①先輩方が優しく、すぐに学校に慣れたこと。  
②活気があつてとても楽しい。資格が取得できること。  
③皆さん回答ありがとう(ござい)ました。三年間、楽しいことやつらいこともあると思いますが、白石工業の強みである資格など得られる物もたくさんあるので、様々な面に力を入れて頑張っていきたいと思います！  
(電気科一年 佐東摩乃亜)

【電気科 Aさん】  
①課題が多くてやりがいを感じる。  
②自由が増えて楽しい。  
③みんなとても元気があふれていること。  
【設備工業科 Kさん】  
①たくさん友達ができ、頼りになる先生もたくさんいること。  
②楽しく生活できていて、ありのままにいられる。  
③部活動も強く、将来のためになる技術や知識を得られること。



宮城県白石工業高等学校  
〒989-0203  
宮城県白石市郡山字鹿野43  
報道委員会

# 県総体を終えて

山岳部は六月七日、八日、九日に行われた宮城県高等学校総合体育大会登山大会に参加しました。登山大会では、時間、体力、歩行、装備、設営、撤収、炊事、気象、自然観察、医療などのペーパーテストも行います。そこで、大会が終わった後に部員へインタビューを行いました。インタビューでは、試合結果や日々の練習で頑張ったことについて質問しました。

インタビューに答えてくれたのは、山岳部設備工業科一年の眞壁颯さんです。「試合結果については、十二校中八位だったのでもう少し上に行けると思っていました。」と話してくれました。日々の練習で頑張ったことについては、重い荷物を背負って山中を歩く練習をしたことだそうです。  
(機械科二年二組 渡邊哉哉)

ラグビー部

このインタビューを通して、部員全員が成長したと感じました。今後の試合でも今回の経験を活かし、さらなる飛躍を目指してほしいです。  
(機械科二年一組 大浦翔悟)

敗北から学ぶ 次へのステップ

ラグビー部は五月二十五日、二十九日に行われた宮城県高校総体では、県ベスト4という目標を達成できず、二十九対〇という悔しい結果で終わりました。

そこでキャプテンの電気科三年の鈴木裕也さんにインタビューをしました。

Q 目標に向けて頑張ったことは？  
A 「目標の県ベスト4にはなれませんでした。声がかけて士気を高め、部活後の追い込みもチーム全員で頑張りました。」

Q 大会を通して成長した点はあるか？  
A 「自分たちの弱みや、これからやるべきことを明確化できたため、チームの意識が高まった。」

Q 最後に新しい目標は？  
A 「次は花園予選があるので、そこではより多くの得点を取りたいです。」

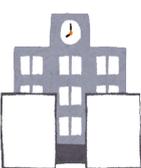
# 学校がなぜ丘の上に建っているのだろうか？

皆さんは、なぜ丘の上に学校が建っているのか気になったことはないでしょうか。私はその理由について考えてみることにしました。理由は二つあると思います。

一つ目は、洪水対策です。学校の近くには川があり、大雨による氾濫の際、洪水の影響を受けにくい高台に学校があると安全です。また、近くの人の避難場所としても利用することができます。

二つ目は、集中できる環境づくりのためです。街中に学校を建てると、車の音や工事の音などが聞こえてくるでしょう。しかし、丘の上に学校を建てれば、周りは山に囲まれているため、集中を乱されることがありません。そのうえ、とても静かなので、授業を受ける生徒は集中して勉強することができます。周りに家がないため配慮の必要もなく、思う存分部活動に励むことができます。

以上の二つの理由から、私たち生徒が日々集中して学校生活を安全に送ることができるように、丘の上に学校が建てられたのではないかと考えます。  
(電気科三年 齋藤琉偉)



# 体育大会開催!



七月三日から四日にかけて本校で体育大会が行われました。私は今回、体育大会でソフトボールを選んだ電気科二年の加藤太一さんを取材しました。「なぜソフトボールを選んだのか。」太一さんは授業であまりやらず挑戦したかったことと、昨年観戦して楽しそうだったからと答えました。「最も活躍した場面は?」諦めずにボールを見切つて四球にしたり、粘つてヒットを打つたことだそうです。「悔しかったことは?」二点差で勝つていたので試合時間が残り少なくもう一イニングずつ行い、逆転されて負けたこと話しました。最後は次回の目標は?「応援や雰囲気作りを他クラスに負けないようにし、来年は最後の体育大会なので悔いの残ら

ないよう、全力で臨むこと」と答えてくれました。二年生は次は最後の体育大会なので、大切な目標だと思います。

クラス内では、体育委員を中心に種目メンバーを決め、クラスをまとめたり、各キャプテンを中心にチームで作戦会議をする姿も印象的でした。あるクラスでは、種目やクラスTシャツを決める段階から盛り上がりつつあったようです。体調不良者は数名いましたが、大きな怪我やトラブルはなく、蒸し暑さに負けず、チーム一丸となつて汗を流し、優勝を目指しました。

- 【総合優勝科】
- 一位：建築科
  - 二位：電気科
  - 三位：機械科一組
- 【総合優勝クラス】
- 一位：建築科一年
  - 二位：建築科三年
  - 三位：電気科二年
- ・設備工業科一年
- 【バレーボール】
- 一位：建築科一年
  - 二位：機械科二年一組
  - 三位：電気科三年

## 大会結果

【バドミントン】

- 一位：建築科三年
- 二位：電気科一年
- 三位：機械科一年一組

【ソフトボール科対抗】

- 一位：設備工業科
- 二位：機械科一組
- 三位：建築科

【リレー(同率一位)】

- 機械科三年一組、機械科一年二組、電気科二年、建築科一年、建築科三年
- 設備工業科一年

## 進路に向けて

今回は白石工業高校の強みについて、全学科の科長さんに取材をしました。

【質問内容】

- ①どういったところに就職する人が多いのか。
- ②進学する人はどのくらいか。
- ③進学する人はどのような学校に行くのか。
- ④どんな資格を取ると、就職や進学に有利になるのか。

【設備工業科】

- ①設備関係や県内就職が多い。  
②二人から三人程度。  
③東北工業大学、仙台大学、専門学校に行く人が多い。  
④技能検定各種、施工管理技術、電気工事士など。  
【工業化学科】
- ①製造業や生産業。②二割か三割。③専門学校に行く人が多い。④危険物取扱者試験。
- 【建築科】
- ①建築関係。②クラスの半分くらいは進学。③建築を学べる学校や、東北工業大学。④将来に近い資格、施工管理。
- 【機械科】
- ①製造自動車関係。

- ②三割くらい。③東北工業大学や、専門学校に行く人が多い。④技能検定各種。  
【電気科】
- ①県内、東北電力、東日本旅客鉄道、東北電気保安協会。②三割ほど③東北工業大学、東北学院大学、専門学校。④第三種、第二種、第一種電気工事士。
- 今回科長の先生に取材したところ、色々な所へ就職進学する人が多いと知ることができました。今後皆さんもぜひ参考してみてください。  
(設備工業科一年渡邊聖真)

紫藤新聞はいかがでしたか? 今回は工業の強みや、なぜ学校が坂の上に建っているのかなどを調査しました。他にも調査してほしいことがあれば記事にしますので、ぜひ報道委員に声をかけてください。今回の記事では、先生の意外な姿が見られたり、入学式での新入生の思いや、部活動での活躍が紹介されています。特に体育大会に関する記事は締め切りと開催時期が重なっていたため、記事の担当者は大変そうでした。ぜひお楽しみください。  
(工業化学科二年山崎杏)

【インタビュー】

・電気科一年阿部航太さん  
初めての体育大会をクラス全員で協力し、声をかけ合い応援し最後まで諦めずに楽しめました。クラス対抗と科対抗の競技があった中で特にソフトボールは、学年の差を感じさせないような応援と、声の掛け合いがあり、生徒全員で楽しめました。そして、体育大会を開催できたことが、何より一番良かったと思います。  
・電気科一年亀谷陸斗さん  
経験者や未経験者が混ざっていても楽しめるのが良く、誰が勝つか分からないくらい全員が本気で戦っていて、接戦の試合だったので、最高に楽しむことができました。  
(電気科一年平間留伊)  
(電気科二年森颯斗)

今回は一年生の先生方についてインタビューをしました。生徒の皆さんが普段聞ける、先生たちの学生時代について見てみましょう!

【機械科一年一組担任】  
古内 秀明 先生  
「学生時代にしていたことは、部活のサッカーと蒸しパン作りをしていました。サッカーは昔からしていたからで、蒸しパン作りは母が蒸しパン作りのキットを買ってきて、やってみるとハマったからです。」

【電気科一年担任】  
三浦 友弥 先生  
「電子工作を通じて、ロボット作りに挑戦したこと。幼い頃からパソコンやロボットに興味があり、高校に入ってからP1Cマイコンを使って自分でロボットを作ってみたいと思いました。ところがある日、LEDが破裂してしまい、その経験から「なぜ壊れたのか」を自分で調べるようになり、電子回路の仕組みを理解する努力を始めました。」

【機械科一年二組担任】  
秋葉 寿太郎 先生  
「学生時代にしていたことは、吹奏楽部の平日と休日の部活でした。理由は平日と休日の部活を頑張り、良い音楽を作れたからです。」  
【工業化学科一年担任】  
木村 光平 先生  
「資格取得と旋盤をしながら、時間つぶしに資格取得をして、機械部だったため旋盤をしていました。」  
【建築科一年担任】  
千葉 丈翔 先生  
「軟式野球部は熱心で大好きでした。(万年三塁ベースコーチでした)」

【設備工業科一年担任】  
安部 恒俊 先生  
「なんでもかんでも真面目で熱心やっていた。特にラグビーと勉強を頑張っていました。」  
インタビューに協力していただいた先生方、ありがとうございました。このインタビューをした理由は先生が学生だった頃の話をあまり聞かないため、気になったからです。インタビューを通して、先生の学生時代の様子が分かり、とても楽しかったです。  
(機械科一年一組阿部奏介)  
(工業化学科一年久保田徠冬)

## 編集後記